

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9841		事務事業名称	污水管渠改良事業						短縮コード	経常	9841	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	公共下水道施設改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
老朽化した下水道施設を計画的に改築・更新工事を行い，機能確保，長寿命化対策を図り，ライフサイクルコストの最小化に努める。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
東日本大震災以降，施設の耐震化による機能確保と供用開始以来40年以上経過して老朽化が懸念される管路施設が増えている。						大項目（節）	04	第4節下水道						
						中 項 目	01	1. 下水道						
						小 項 目	02	(2)汚水排水の整備						
						細 項 目	01	①汚水施設の整備拡充						
				実施計画の計画事業	5084	污水管渠整備事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	設置後，処分制限期間を過ぎた汚水施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 管渠築造工事実施設計							
	※平成24年度に計画していること： 汚水幹線管渠築造工事 公共下水道長寿命化計画管渠実施設計業務委託							
意図 （何を狙っているのか）	老朽化した施設の機能確保と管渠整備により，ライフサイクルコストの最小化を図る							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分			単位	2 2 年度		2 3 年度		2 4 年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	0	0	950	
	指標 2	処分制限期間を過ぎた污水管延長	m	0	0	0	220	
	指標 3							
活動指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	0	0	950	
	指標 2	長寿命化計画実施設計延長	m	0	0	0	220	
	指標 3							
成果指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	0	0	950	
	指標 2	汚水管路改良延長	m	0	0	0	220	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9841	事務事業名称	污水管渠改良事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			老朽化した下水道施設の計画的な改築・更新工事や、管の長寿命化に向け、下水道施設の機能確保を図っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			改良によりライフサイクルコストの削減につながるが、事業が開始すれば経費は増加する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
老朽化した施設の長寿命化計画									

所属長コメント	供用開始から40年以上経過した老朽化等が懸念されている管路施設が増えてきていることから、管路等の長寿命化計画に基づき計画的に整備推進していく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			老朽化した下水道施設の改築・更新については、課題解決に努め、国の下水道長寿命化支援制度を利用し、効果的に遂行すること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									